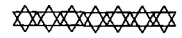
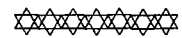


成田廃止粉碎・第三波闘争に決起するぞ 「闘う方針」を確立し大成功をおさめる

10支部の先陣を切って成田支部大会開催される



第三波ストライキを配置して「分割・民営化」を阻止する闘いに決起することを決定した動労千葉第十一回大会後、十支部の先陣を切って、わが成田支部は九月二十七日、支部第十回定期大会を開催し、成田支部は本部方針を踏まえ、全力で第三波ストライキにむけ決起する方針を打ち固めた。



第三波の闘いを構築しよう！！

大会は、多数の来賓を迎えて佐藤支部特執の司会で開会された。

司会者は、冒頭「動労千葉の拠点・成田支区廃止攻撃粉碎にむけ、支部百名組合員はこの闘いを自からのものとして第三波ストライキに一丸となり突入せよ！！」

本大会をもつて廃止阻止の闘いを構築しよう！！と全員に檄をとばした。

続いて、森内支部長より「分割・民営化阻止、成田支区廃止粉碎にむけ全力で闘わなければならない。全組合員は敵の攻撃に対し真正面から受けて立ち総決起で闘いぬこう」との第三波ストライキにむけた断固たる決意が表明された。

北総の拠点・成田支部を守れ

多くの来賓の方々から挨拶を受けた。

先ず三里塚反対同盟・北原事務局長より「動労千葉の決起は全国鉄労働者の決起を必ず促す。反対同盟も全力で支援する」と述べられ、続いて、本部を代表し布施書記長から「成田支部の存亡をかけた本大会である。本部は動労千葉の歴史を築いてきた成田支部を守りぬく決意である」と決意を明らかにした。

さらに、婦人民主クラブの代表が「私たちは動労千葉の闘いを支援し、動労千葉の路線を拡大していく」と挨拶された。

その他、国鉄の仲間など多くの方々から連帯の挨拶をうけた。

『第三波ストに決起する』 決議を採択

運動方針が提起された後、質疑に入り「人活センター」に配転された仲間から闘いの報告がなされた。また、支区廃止攻撃に対し第三波ストを構築すべきだ、との闘う決意が集中した。

質疑の後、青年部から決議文が提出された。この間の連続した闘いを支部の最先頭で担い、本大

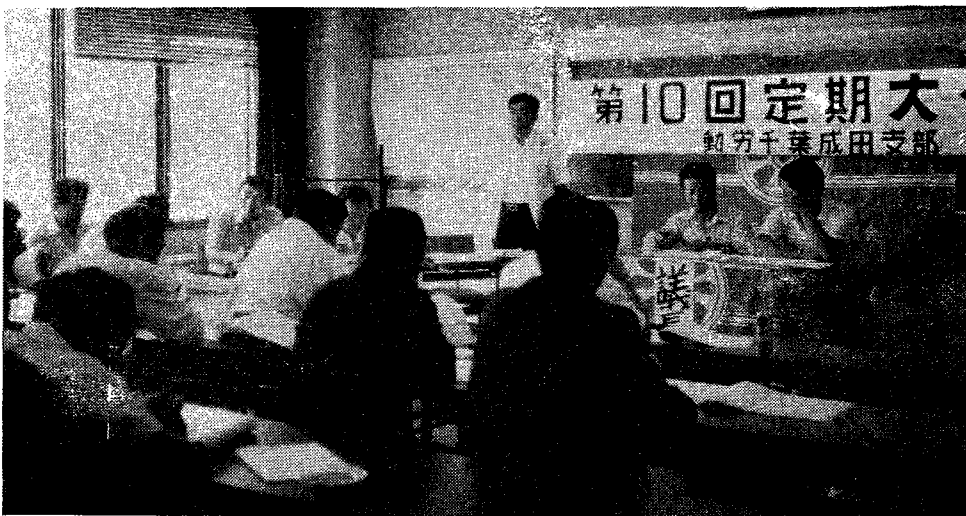
会においても第三波ストライキをけん引すべく、「成田運転支区廃止粉碎に向けて第三波闘争に決起する決議」が提出され、満場一致で採択された。これにより、成田支部は第三波闘争蜂起の砦となり、支部百名は第三波ストライキに総決起するものである。

そして、「十一月ダイ改阻止、分割・民営化粉碎、中曽根内閣打倒に向け、第三波ストライキ！国鉄ゼネスト実現へ全力で決起する」大会宣言を満場一致で採択し、支部大会は大成功のうちに終了した。

（寄稿・成田支部通信員）

▲新たな執行体制▼

- | | | |
|------|------------|-----|
| 支部長 | 森内 猛 (四二) | 電運士 |
| 副支部長 | 高柴 康 (四五) | 電運士 |
| 副支部長 | 大畑 勤 (四二) | 検査係 |
| 書記長 | 大須賀昭男 (四二) | 電運士 |
| 執行委員 | 加納 昭 (三六) | 電運士 |
| 執行委員 | 岩井 昇一 (二八) | 電運士 |



成田支部 100名組合員の最先頭にたち
勝利おろまで闘いぬく決意を明らかにする森内支部長